

この通信の目的

忙しい業務の中でも、患者・家族の生きてきた物語を思い描ける、温かい看護が提供できる看護師が必要とされています。医療・看護に携わる仲間が知識や情報、考え方を共有できることを目指して発刊いたします。

・正しい「DNAR 指示」とは？

～医師 A  と医師 B  の会話～

【症例】

64 歳女性。乳がん治療中だったが、使える抗がん剤がなくなり、主治医と話し合いが行われ、「急変時は DNAR」とカルテに記載された。自宅で元気に過ごしていたが、ある日発熱・呼吸困難で救急搬送され、新型コロナウイルス肺炎と診断された。気管挿管・人工呼吸管理が必要なほど重症であった。

救急医から「DNAR って書かれてあるけどどこまで治療したらよいのか？」との質問があった。



元気に過ごしていたけどコロナにかかってしまったんですね。しかも人工呼吸が必要な程ってことですが、DNAR ってカルテに書かれていると、侵襲的な治療など躊躇してしまう医療者は多いような気がします。

そもそも DNAR についてちゃんと理解しているかって話だと思うよ。日本集中治療医学会が出している勧告¹⁾ がわかりやすいから一緒に読んでみよう。大事なことは DNAR は「急変時の対応」ではなく「心肺停止時の対応」を意味するってことだ。DNAR の指示があるからって何もなくていいわけじゃないし、必要であれば人工呼吸や抗がん剤などの治療を躊躇する必要はない。



なるほど。「急変時は DNAR」ってカルテ記載はちょっとイマイチということですね

ま、定義も大事なんだけど、大切なのはこの患者さんにどう対応するか、という議論だね。どう思う？



う～ん・・・自分だったら元気になって退院できる可能性があるなら、ちゃんと治療してほしいって思います。でも無駄に延命になって家族に迷惑かけるのは嫌だなあ・・・

そういった価値観や意向について話し合っておきましょうってのがいわゆる「ACP」や「人生会議」だね。今回の場合は肺炎は重症そうなので、本人が話せる状態かどうか、本人。家族と話をする時間的余裕があるかどうかが心配かな



確かに急いで対応しなきゃですね。主治医の先生や外来の看護師さんにも、どんな話し合いがあったのか聞いてみたいと思います

Do Not Attempt Resuscitation(DNAR)指示のあり方についての勧告¹⁾（抜粋）

① DNAR 指示は心停止時のみに有効である。心肺蘇生不開始以外は ICU 入室を含めて通常の医療・看護については別に議論すべきである

② DNAR 指示と終末期医療は同義ではない。DNAR 指示にかかわる合意形成と終末期医療実践の合意形成はそれぞれ別個に行うべきである

2023 年 5 月研修予定

- 1 日・15 日 看護を語る会
- 2 日 新人研修
- 10 日 BLS 講習
- 12 日 メンタルヘルス研修
- 15 日 認知症ケア研修
- 18 日 看護助手研修
- 23 日 摂食・嚥下研修



リボンの[ホーム]タブ上にある[スタイル]
から 1 回のクリックだけで必要な書式を
設定できます。